

もっと教えて 生成A I

れいわ ねん がつ しょうはん
令和5年8月(初版)
とくしまけんきょういくいいんかい
徳島県教育委員会

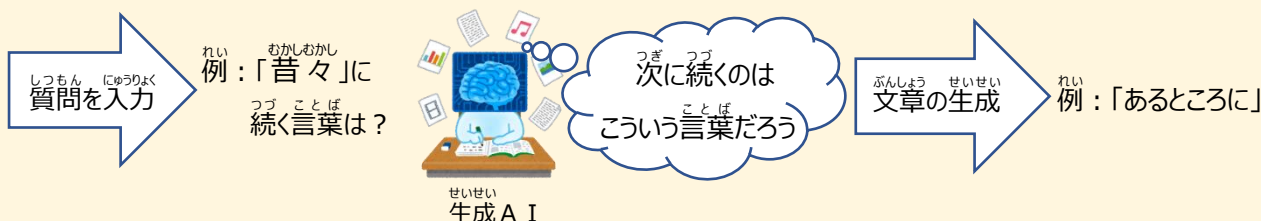
「チャットG P T」などの生成A Iが、ニュースで話題になっているね。

文部科学省が出した、使い方についてのガイドライン(めやす)を説明するので
ルールを守って正しく使ってね!

Q1 生成A I って、何ですか？

生成A Iは、パソコンで質問を入力すると、事前に学習した

大量のデータをもとに、質問に対する文書や画像などをなんでもそれらしく自動で作ります。



Q2 どのようなことに使うことができますか？

すでに答えのある問題であれば、インターネット検索でもできますね。生成A Iは、

まだ答えのない問題について、解決方法を考えていくときの相談相手となってくれます。



Q3 生成A Iは、小学生でも使えますか？

小学生は、学校でも家庭でもほとんどの場合、使うことができません。

なぜなら、今使われている多くの生成A Iには13歳、または

18歳以上などの利用規約(ルール)があるからです。

使う時は、必ず保護者と
一緒に使おうね!



小学校では、先生が使っている
ところを見て、生成A Iのしくみを
知るといふ使い方を考えています。

Q4

どうして小学生は使うことができないのですか？

生成A Iを使うには、仕組みやルールをしっかりと勉強する必要があるからです。

小学生は、生成A Iのできることやできないことを知り、将来使うための力をつけることが大切です。

Q5

生成A Iを使うために気をつけることはありますか？

生成A Iは正しく使えば危ないものではありません。将来、「新しい技術をうまく使いこす力」

は大切になってきます。小学生のみなさんは、次のことに気をつけ、力をつけていきましょう。

生成A Iのできること、
できないことを知る

情報が正しいかを
確かめる習慣をつける

自分で考えることの
大切さを理解する

名前や住所などの
個人情報は入力しない

生成A Iがつくったものを
そのまま使わない



生成A Iを使うための必要な力をつけていこう！

Q6

もっと知りたいときはどうすればいいですか？

「知りたい」、「調べたい」という「学びに向かう力」が、

人間がA Iに勝るところだね！ A Iって何だろう？

図書館やインターネットを使って調べてみよう！



徳島県情報モラル教育サポートサイト

文部科学省のガイドラインを掲載しています。